

情報は企業の血液、流れが滞る、流出することは致命傷となります

組織と業務の改善・効率化のためのコミュニケーションと情報共有・管理

日時	案内メール、HP をご覧ください	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円） テキスト付 & 主催講座特典	
講師 ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹		
受講対象		得られる知識、スキル
・ 経営者、役員 ・ 管理者、マネージャー、リーダー ・ 担当者		・ 情報管理による組織と業務効率化の方法 ・ 情報共有・管理の考え方と方法 ・ コミュニケーションによる組織マネジメント
概要		
情報化社会と言われる中で、「情報は企業の血液」とも言われるように、ますます情報の持つ意味と価値は高まっています。企業において、情報共有を円滑行うためには日々のコミュニケーションが重要となります。しかし、現場ではコミュニケーション・情報共有の不備による大きな問題が発生しています。また、情報を取り扱うにおいては、情報管理・情報セキュリティーも忘れてはいけません。現代においては、適切に情報を取り扱うことが企業活動の中で必要不可欠であり、最も重要なものの一つとなっています。しかし、コミュニケーション・情報共有・情報管理について多くの企業で十分な検討や教育がなされていないのも事実です。 本講演では、組織と務を改善し、適切に情報を扱い、活用するためのコミュニケーションや情報共有・管理について演習も交えながら詳細に解説します。		
● 【情報と企業活動】 情報とは何かをという基本を整理し、情報と企業活動の関係、企業活動における情報位置付けなどについて解説します。 ● 【コミュニケーションの基本】 情報共有の基盤となるコミュニケーションとは何か、そして、コミュニケーションはどうあるべきかと共に、現実のコミュニケーションにおける障害、課題について解説する。 ● 【業務におけるコミュニケーション】 実際の業務におけるコミュニケーションの役割、コミュニケーションプロセスと共に、現実が発生しうるコミュニケーションの問題について解説する。 ● 【情報共有プロセス】 実際の情報共有をどのように行うのかについて、方法やプロセスはもちろん、そこに存在する落とし穴などを解説する。 ● 【情報管理】 情報を取り扱う上で共有と共に必須となる情報管理、情報セキュリティーについて、情報分類とそれらに対する取扱いの基本を整理しつつ、ルール設計、漏洩対策も含めて解説する。 ● 【情報とマネジメント】 情報共有、管理、コミュニケーションと組織管理、マネジメントの関係を整理しながら、マネジメントプロセスの中でどのように進めていくかについて解説する。 ● 【典型的問題パターン】 情報共有、コミュニケーションにおいて発生している典型的な問題パターンを紹介しながら対策を含めて解説する。 ● 【ケーススタディ】 実際の業務の中で行われる情報共有、コミュニケーションを事例として取り上げてケーススタディーとして解説する。 ● 【まとめ】と質問		
詳細は、HP をご覧ください		
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : haru777@star.email.ne.jp